

2019(令和元)年度
学校関係者評価委員会
報告書



2019年9月
学校法人 帯広学園
帯広調理師専門学校

2019(令和元)年度 学校関係者評価委員会 報告書

1. 学校関係者評価委員会

・開催日時：2019年9月18日(水) 14:00～15:30

・開催場所：帯広調理師専門学校2F 多目的教室

・学校関係者評価委員(敬称略)：

選任区分	役職	人数
高等学校関係者	校長	1名
調理関係者	オーナーシェフ	1名
卒業生	43期生	1名
保護者	46期生保護者	1名

・学校側出席者：

役職	人数
理事長	1名
校長	1名
教務主任	1名
事務	1名

・内容：

- ① 委員会の趣旨説明
- ② 学校概要の説明
- ③ 自己評価の報告
- ④ 質疑応答

・配布資料：

議事次第、自己評価報告書、学校パンフレット一式

2. 評価委員会からのご意見・ご要望

- ・企業と学校との連携を密にする取り組みをしてもよいのではないかと。企業側の欲しい人材、学校で学んで送り出せる人材などの情報をネットワーク化できないかと。
人材難のなか、せっかくとった人材も離職してしまっはもったいないので、ミスマッチを防ぐ意味でもそうしたネットワークがあるといい。
- ・就職後、何年間かは、定期的に事業所へ様子伺いのアンケートを送るなどしてもよいのかもしれない。
- ・求人票の掲示も既定のフォーマットだけではなく、事業所ごとの特徴がわかるようなものがあったもよいのではないかと。
- ・調理師としてのプライドを高められるようなプログラムがあってもよいのではないかと。卒業後の働き方の意欲を高める工夫があるといい。
- ・入学する学生の年齢、経験、意識が広く、個々のモチベーションの差が大きい。中途退学者を出さないために、入学の段階で高校側と密な連携をとってもよいのではないかと。
- ・学生の視野を広げてほしい。学生本人の意識が大切だとは思いますが、調理師免許をより活かせるような、卒業生や現場の話を聞かせてほしい。
- ・卒業生同士のネットワークを学校が中心となって構築することで、情報交換や就職支援に結び付けられるのではないかと。